

令和2年8月26日

エム・ケー株式会社

エム・ケー株式会社が業務代行予定者となる 「今井土地区画整理組合設立に関する覚書」を 青梅市 今井土地区画整理組合設立準備会と締結

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、エム・ケー株式会社が業務代行予定者となる「今井土地区画整理組合設立に関する覚書」を今井土地区画整理組合設立準備会と本日締結致しました。

「(仮称)今井土地区画整理事業」は、首都圏中央連絡道路青梅インターチェンジに隣接した交通利便性に優れた約49ヘクタールの区画整理事業で物流拠点の整備を目的としており、地元の準備会と、青梅市、業務代行予定者である鹿島建設株式会社及びエム・ケー株式会社の三者が一体となって進める計画です。

今まで取り組んできた事業の中で最大規模となる土地区画整理事業に挑戦するエム・ケー株式会社を、この機会にぜひご取材賜りたくご案内申し上げます。

敬具



【青梅市（仮称）今井地区土地区画整理事業 概要】

所在地： 青梅市今井二丁目及び四丁目地内

アクセス： 首都圏中央連絡自動車道青梅インターチェンジに隣接

規模： 敷地面積 約 49ha

現地航空写真



【業務代行予定者】

鹿島建設株式会社、エム・ケー株式会社

【エム・ケーの業務】

権利者 220 名の合意形成業務、準備会の運営支援、組合の設立認可申請に必要な業務、資料作成、進出企業の誘致活動など。

この地域は十年以上前より土地活用転換により地域の活性化を図りたいという強い思いがあり、鹿島建設株式会社の協力のもと、地権者、行政、民間の相互協力により事業の実現に向けて協議を行ってまいりました。

その中で、東京都の「東京都西南部の流通業務施設に関する整備方針」（平成 20 年 5 月）において青梅インターチェンジ周辺は、流通業務施設の整備、流通機能の向上をめざす候補地として位置づけられており、また、「多摩部 19 都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」（平成 26 年 12 月）においては、青梅インターチェンジ北側地区の市街地整備により、広域交通ネットワークをいかした産業拠点を形成する方針が定められました。

本事業はこれらの方針に基づき、土地区画整理事業により、周辺の住環境や農地等に配慮した物流拠点を中心としたまちづくりの形成を図ることを目的としております。

令和 2 年 2 月の準備会役員及び推進委員による合同会議において、エム・ケー株式会社の実績や経験値が認められ本事業に参画することとなり、この度覚書の締結を行うこととなりました。

【青梅市今井地区の魅力】

首都圏中央連絡自動車道青梅インターチェンジに隣接という好立地でありながら、約49 ha という広大な土地です。

圏央道は平成29年2月に境古河IC～つくば中央ICの開通により東京圏から放射状にのびる東名高速、中央道、関越道、東北道、常磐道、東関東道の6路線と接続され、様々なルート選択が可能となっております。

地区西側の岩蔵街道のほか、地区内に新たに都市計画道路として南北幹線と東西幹線を設け、スムーズに圏央道とアクセスできるようにします。

また地区の周辺には既存の工業団地や住宅地も多く、従業員の確保が容易であることも魅力の一つとなっております。

エム・ケーはこれからも、皆様と共に豊かなまちづくりを目指してまいります。

